

令和5年度

◆ふくし体験教室ボランティア募集◆

ボランティア・市民活動センターではふくし体験の依頼があった小学校等へボランティアさんと訪問し、体験学習のお手伝いをしています。現在では30名程の登録があり、交替で各学校等へ訪問しています(令和4年度は13校実施)。その活動に参加いただけるボランティアさんを新年度も募集します！

【会場】 市内小学校やイベント会場

【時間】 主に小学校は平日の午前中、イベントは休日

【活動内容】 車いす・ブラインドウォーク・お年寄り体験など、体験学習のお手伝い

コースに立って児童の皆さんが安全に操作できるようにサポートしていただくなど、補助的な活動です。



こちらが元気をもらっています！



☆興味のある方はボランティア・市民活動センター（☎27-5974）へお気軽にお問い合わせください(^_^)/~

★令和5年度 ボランティア登録・保険加入のご案内★

ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア登録をしていただける団体・個人を年間通して広く募集しています。あわせて、ボランティア活動保険の加入受付も行っております。ボランティア活動中に事故にあった際やうっかり物を壊してしまった、など万が一に備えて加入をしましょう。

また、継続して加入登録されている方は、年度ごとの更新となりますので、早めに手続きをしましょう。



◎年間保険料（年間1人当たり）

●基本プラン：350円

●天災・地震保証プラン：500円

●特定感染症重点プラン 550円

◆事故が増えています。保険加入をしてからボランティア活動を行いましょう。

《ボランティア活動保険対象事故例》

- ・見回り活動中、側溝に気づかず転倒してしまった。
- ・ボランティア団体の会議後、帰宅途中、駐車場でつまずき転倒してしまった。
- ・剪定中、木の枝が落ちてきてバランスを崩し、ケガをした。
- ・草刈りボランティア中、小石が飛び車の窓ガラスが損傷してしまった。(損害責任)
- ・活動終了後、運転を誤り道路標識に衝突。(人身のみ保険対象)



【受付・お問い合わせ】 ボランティア・市民活動センター（☎27-5974）

または社協各支所 赤堀支所（☎62-0066） あずま支所（☎20-2666） 境支所（☎74-5294）

■お問い合わせ■

伊勢崎市市民部市民活動課（絃の郷内）

〒372-0014 伊勢崎市昭和町 1712-2

TEL 61-6712 / FAX 61-6713

メール katudo@city.isesaki.lg.jp

社会福祉法人 伊勢崎市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター

〒372-0045 伊勢崎市上泉町 151

TEL 27-5974 / FAX 27-5975

メール volunteer@ise-shakyo.or.jp

いせさき
ボランティア・市民活動通信

編集発行：伊勢崎市市民部市民活動課、社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動情報交換会のご案内

伊勢崎市内には、多くのNPO法人、市民活動団体、ボランティア団体などがあり、様々な分野で活動しています。今回は実際に伊勢崎市内で活動している団体の方を講師としてお招きし、日頃の活動の様子や活動を通して学んだこと、活動を活性化していくための工夫や、やって良かったと感じたこと、イベントを行う際の周知方法など身近なテーマでお話をさせていただきます。実際に伊勢崎市内で活動している団体の方達なので、これからの活動に関して参考になるお話が聞けるチャンスだと思います。伊勢崎市内で活動をする団体のみなさま、これから市民活動やボランティア活動に参加してみたいと思っている方などぜひご参加ください。

日時：令和5年3月21日(火・祝) 午前10時から（※受付 午前9時30分から）

会場：絃の郷 円形交流館 多目的ホール

内容：「市民活動のためのヒント・コツを学ぼう！」

講師：伊勢崎ボランティア協会

みちくさ塾

伊勢崎市ボクシング協会



※詳細や申込みにつきましては、チラシをご覧ください。チラシは公共施設や市ホームページでご覧いただけます。
※市民活動団体に属していない方も大歓迎ですので、個人の方もぜひご参加ください。

《講師の紹介》

伊勢崎ボランティア協会 小倉 良枝さん

昭和63年に伊勢崎ボランティア協会三郷支部に入会し、平成23年に支部長就任、平成29年からは会長を務める。協会の活動として地域の見守りやお買い物支援、環境美化活動を実施。個人として市内小学校での福祉体験教室のボランティアにも参加している。また、市社会福祉協議会役員をはじめ、当事者団体の役員も歴任。アロマ、お花、写真など趣味も多彩である。



みちくさ塾 金井 拓美さん

平成19年にみちくさ塾を立ち上げる。その前進には島村ベイゴマクラブがあり、島村公民館で子供たちにベイゴマを教えていた。みちくさ塾となってからは島村から境、そして伊勢崎へと活動の幅を広げてきた。会計の田島さんと共に基本は自分がやりたいこと、興味があることを模索し、自身も楽しみながら活動をしている。



伊勢崎市ボクシング協会

秋山 賢一さん

高校入学と同時にボクシングを始め、プロボクサーとしての経験もあり。その後、伊勢崎市ボクシング協会の先駆けとなる伊勢崎ボクシングクラブの代表を務め、令和4年6月に伊勢崎市ボクシング協会を設立し、代表に就任。



普段は週に2回、市民体育館でクラブの活動をしている。ボクシングを身近に感じてもらえるよう、各種イベントなどでボクシングのミット打ち体験を行っている。

みなさまのご参加をお待ちしています！

《第18回市民ボランティアフェスティバルを開催しました!》

第18回市民ボランティアフェスティバルが2月5日(日)に絣の郷で開催されました。3年ぶりの開催ということでどれくらいの人に来ていただけるのか心配もありましたが、当日は34団体が参加し、約1200人もの方々に来場していただきました。まだまだコロナ禍ということもあり、感染対策を行いながらの実施となりましたが、フェスティバル当日はたくさんの方々の笑顔があふれ、コロナ禍前の活気が戻ってきたように感じました。今回のフェスティバルをきっかけに伊勢崎市の市民活動、ボランティア活動がさらに活性化してくれたらうれしいです。本記事では、フェスティバル当日の様子を写真と共に振り返ります。

◇ステージ発表◇

ステージ発表では16団体が参加し、色々なジャンルの演目で来場者を楽しませていただきました。



カラフルな衣装を身にまとったチンドン屋はみなさまに笑顔を送ります♪



誰でも簡単にできる体操で会場のみなさまと一緒に「ドンパン節」を踊りました。

懐かしのグループサウンズミュージックを奏でました。最後は会場からアンコールの声が上がるほど盛り上がりしました。



◇ブース展示◇

ブース展示では12団体が参加しました。それぞれの団体が普段の活動の様子を展示したり、会員の募集などを行いました。



市内の観光情報を熱心にお伝えします。



壊れたおもちゃもおもちゃドクターにお任せを!

カラフルなお花の寄せ植えを楽しみました。



◇バザー◇

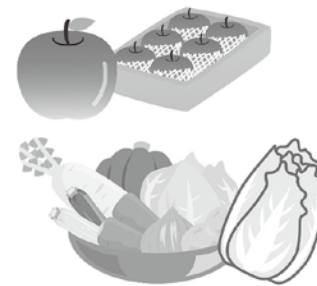
バザーでは3団体が参加しました。たくさんの品物が並び、一時は列ができてしまうほど大繁盛でした。



来場者の方が宝の山の中から真剣に品定めをしています!



おいしいりんごや新鮮な野菜などもバザーに並びました。



◇活動体験◇

活動体験では3団体が参加しました。機織り体験や運動体験など子どもたちの参加が多くみられました。



寒さにも負けず元気に体を動かします!



◆第18回市民ボランティアフェスティバルを終えて◆

第18回市民ボランティアフェスティバル実行委員会 会長 久保田 光俊

久しぶりのボランティアフェスティバルは、沢山の人に来てもらえるだろうかという不安の思いがありましたが、当日、私のいたスポーツ交流館では入場待ちの人だかりができており、とてもほっとしたのを覚えています。ただ、それ以上に印象的だったのが、参加団体の方々の生き生きとした表情でした。コロナ禍で、成果を発表する場や練習をする場の確保もままならない時期もあったので、久々のハレの日は良い一日になったのではと感じました。「ボランティア」活動は人により捉え方が違ってきますが、今回強く感じたことは「生きがい」としての活動という面でした。

最後に、以前と比べてコンパクトな開催でしたが、これから段々とやれることを増やしていけたら良いなと思っています。

